

鈴木



賢一



と徹



2026
1.10 土 →
3.22 日



●開館時間

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

●休館日

月曜日(祝日の場合は開館)

1月13日(火)、2月12日(木)、2月24日(火)

●観覧料

一般・大高生=800(640)円、中学生以下無料

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料

* ()内は20名以上の団体料金

*「家庭の日」の第3日曜日(1月18日、2月15日、3月15日)は中学生以下の子どもの同伴者2名まで観覧無料

●主催

栃木市教育委員会、栃木市立美術館

●後援

朝日新聞宇都宮総局、産経新聞宇都宮支局、
下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、
毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、
NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、
ケーブルテレビ栃木、株式会社とちぎテレビ、
株式会社栃木放送

●助成

公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団

●栃木市立美術館・文学館企業等サポーター

滝沢ハム株式会社、栃木信用金庫、
株式会社ホンダカーズ栃木中央、
株式会社呉光製作所、
トヨタホーム株式会社栃木事業所、
ケーブルテレビ株式会社

(口数、登録日順、令和7年12月1日現在)

上から 鈴木徹《馬と娘の歌の物語 尸》(部分) 1980年代 栃木市立美術館 / 鈴木賢一《子供の頃の思い出(母を訪ねて岩船へ)》(部分) 1966年頃 栃木市立美術館 / 鈴木賢二《人》シリーズより(部分) 1954-59年頃 栃木市立美術館 / 鈴木賢二《妻名》(部分) 1960年 栃木市立美術館 / 鈴木賢二《人》シリーズより(部分) 1954-59年頃 栃木市立美術館 / 鈴木賢二《ここにたいようをもて くちびるにうきをもて》(部分) 1942年頃 栃木市立美術館 / 鈴木徹《砂丘》1992年頃 栃木市立美術館



ここに
たいようをもて
くちびるに
うきをもて

栃木市立美術館
Tochigi City Art Museum

www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/
〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26 TEL: 0282-25-5300



鈴木賢二《平和を世界に 版画巻》(部分) 1958年 鈴木賢二作品集 如輪房



鈴木徹《馬と娘の恋の物語 F》
1980年代 栃木市立美術館

1906(明治39)年、栃木県下都賀郡栃木町平井(現 栃木市平井町)に生まれた鈴木賢二は、栃木県立栃木中学校(現 栃木県立栃木高等学校)卒業後、川端画学校を経て1925(大正14)年、東京美術学校(現 東京藝術大学美術学部)に入学しました。高村光雲のもとで木彫を学ぶ一方、プロレタリア芸術運動に接し、機関誌への漫画の発表を始めています。1929(昭和4)年、東京美術学校卒業を目前にして学内で軍事教練反対のピラを撒き、学校を去ることとなりました。その後、栃木と東京を行き来しながら制作を続け、郷土の偉人の彫像なども数多く手がけています。戦後は久保貞次郎や新居広治らと日本美術会北関東支部を結成、中国の版画家との交流も続け、飯野農夫や滝平二郎らと共に北関東の版画運動の中心的人物として活躍しました。1964年に病気により右手での制作が困難となった後には、彫刻刀を左手に持ち替えて市井に生きる人々の姿を描き続け、1987年に栃木市の自宅で逝去しました。

鈴木徹は1935年に鈴木賢二の長男として生まれました。栃木県立栃木高等学校卒業後、彫刻の道に進み早くから頭角を現しました。自由美術協会を中心に発表、1961年同協会の会員となっています。1970年代に岩手県遠野地方への旅でオシラサマ伝説に出会い、《馬と娘の恋の物語》としてブロンズ彫刻の連作を作り続け、1994(平成6)年に59歳で逝去しました。

本展では彫刻と木版画という彫り刻む営みの中から人間愛に満ちた作品を作り続けた父と子の作品を展示し、その芸術を生んだ栃木の地と時代について考えます。



鈴木徹《花を持つ娘》
1980年代前半 栃木市立美術館



鈴木徹《馬と娘の恋の物語 B》
1988年 栃木市立美術館



鈴木賢二《潮騒の女》
1940年頃 栃木市立美術館



鈴木賢二
《スケッチ(赤ん坊を背負う子供)》
1946年頃 栃木県立美術館



鈴木賢二《花》
1961年頃 栃木市立美術館

関連イベント

●学芸員によるギャラリートーク

1月10日(土) 14:00~(1時間程度)

対象:どなたでも
集合場所:展示室A 当日の企画展観覧券が必要です

●学芸員によるキッズギャラリートーク

1月18日(日) 14:00~14:30

対象:小学生 集合場所:美術館ロビー

●絵を見て話そう! 学芸員と一緒にトーク

2月15日(日) 11:00~11:30

対象:小学生 集合場所:美術館ロビー

●「思い出すまに:賢二と徹との暮らし」

鈴木賢二と徹のご遺族より、芸術家一家の暮らしについて伺います。

語り手:鈴木解子(鈴木賢二四女 鈴木賢二作品集 如輪房)、根本夏代(鈴木徹長女)

聞き手:杉村浩哉(当館館長、本展担当学芸員)

1月24日(土) 14:00~15:00

会場:きららの杜とちぎ蔵の街楽習館

(栃木市市民交流センター)大交流室

対象:どなたでも(小学生以下は保護者の同伴必須)

定員:100名(要事前申込、先着順)

申込開始:1月10日(土) 10:00~

申込方法:電話(0282-25-5300)

●「オシラサマ伝説の世界を訪ねる」

ダンスを伴った朗読を聞いた後に学芸員と共に鈴木徹の《馬と娘の恋の物語》を見ます。

朗読:根本夏代(鈴木徹長女)

ダンス:安藤喜代

展示案内:杉村浩哉(当館館長、本展担当学芸員)

2月1日(日) 14:00~(50分程度)

対象:どなたでも(小学生以下は保護者の同伴必須)

集合場所:多目的室(つなてみち)

(展示をご覧になる方は企画展観覧券が必要)

定員:30名(要事前申込、先着順)

申込開始:1月10日(土) 10:00~

申込方法:電話(0282-25-5300)

●「朗読と音楽と映像による 賢二ヒストリア」

演出:安藤喜代

朗読:茂呂久美子、鈴木解子、白神心音

音楽・箏演奏:稲葉美和

2月23日(月・祝) 14:00~15:00

会場:きららの杜とちぎ蔵の街楽習館

(栃木市市民交流センター)大交流室

対象:どなたでも(小学生以下は保護者の同伴必須)

料金:無料

定員:100名(要事前申込、先着順)

申込開始:1月31日(土) 10:00~

申込方法:電話(0282-25-5300)

同時開催 | 収蔵品展Ⅱ

展示室C

観覧料:一般/大高生 330(260)円 中学生以下無料

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料

* () 内は20名以上の団体料金

*企画展の料金で収蔵品展を無料観覧できます

栃木市立文学館 |

企画展「歷程」と逸見猶吉、岡安恒武

3月22日(日)まで

文学館2階多目的室

観覧料:一般/大高生 330(260)円 中学生以下無料

* () 内は20名以上の団体料金

栃木市立美術館
Tochigi City Art Museum

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26
TEL: 0282-25-5300
www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/



X(旧Twitter)



Facebook



Instagram



【交通アクセス】

電車●栃木駅(JR両毛線、東武日光線)下車、北口から徒歩約20分
バス●栃木駅北口からふれあいバス「市街地循環線(西回り)」
等で「藤沼酒店前」下車、徒歩約1分
自動車●東北自動車道、栃木ICから約10分